

令和5年度 学校経営方針

荒川区立第二瑞光小学校

校長 保坂 美加子

1 学校経営における基本理念

- 学校は子どもたちにとっての学びのフィールドである。そこでの学びは、学習だけにとどまらず、学校生活のあらゆる場面において繰り広げられ、そこで得た学びを通して学校で子どもたちは育つ。学校での子どもたちの日々の育ちを支えるため、学校は最大限に努力する責任がある。
- 将来に向かって子どもたちがたくましく歩みを進めるために、学校は教職員が協働し、また保護者や地域と連携し、子どもたちの育ちを支えていく。

2 目指す学校像

- 子どもたちが「明日も行きたい」「通ってよかった」と思える学校
- 学校を支える大人たちが子どもの日々の育ちを喜び合える学校

3 目指す児童像

【学校教育目標】

○考える子 ○やさしい子 ○元気な子 ~じゅっくりと ニコニコ 生き生き 二瑞っ子~

○考える子 :「主体的に考え行動する子」

- ・自ら学び、主体的に判断し、最後まで取り組む。
- ・友達とのかかわりを通して、自らの考えを広げ、深める。
- ・失敗を恐れず、自分の考え方を信じ、チャレンジする。

○やさしい子 :「自分も人も大切にする子」

- ・一人一人に違いがあることを認め合い、礼儀正しい態度でかかわり合う。
- ・自分のよさを認め、自分のよい判断に対して自信をもって行動する。
- ・善悪の判断ができ、社会規範にあった行動ができる。

○元気な子 :「しなやかに生活する子」

- ・自分の体や心の健康に対する意識をもち、生活する。
- ・進んで体を動かし、毎日元気に生活できる体力を身に付ける。

4 求める教師像 「教師は子どもにとって影響力最強の『教材』であり『活力』である」

- 教育の専門職としての自覚をもち、日々自らの専門性を高める教師
- 子どもに学び、子どもと学び、子どもと成長し続ける教師
- 「チーム二瑞」の一員として、同僚と協働し、学校力向上に貢献できる教師
- 社会人、教育公務員としての自覚をもって行動できる教師

5 目指す児童像の具現化に向けた取組の方向性

(1)「考える子」の育成

①基礎的・基本的な学力の習得

- ・「わかる」授業の実践
- ・授業規律の確立と徹底
- ・習熟に応じた指導の工夫

②子どもが「活動する」授業の実践 —教師は指導者として、支援者として—

- ・対話を大切にする授業
- ・子どもたちのかかわりが生まれる授業
- ・子どもたちの考えや活動のよさを生かす授業
- ・子どもの興味や関心を生かした授業

③校内の教育環境の活用

- ・学校図書館やタブレット PC 等の ICT 機器を効果的に活用した授業の展開

(2)「やさしい子」の育成

①子どもたち一人一人に寄り添った児童理解

- ・日々の行動観察や子どもとの対話を通じた児童理解
- ・同僚教員や外部専門職（SC・SSW）等との連携

②多様性を受け止める学級風土の醸成

- ・子どもたち一人一人のよさが生かされ、かかわり合いが生まれる学級経営
- ・偏見や差別せず、いじめを許さない人権感覚の育成

(3)「元気な子」の育成

①健やかな体と心の育成

- ・体育授業における運動量確保の工夫
- ・業間遊びや体育的行事等における運動機会の充実
- ・心や体の健康、安全に対する意識の啓発